WESTERN ASSET

ウエスタン・アセット・オフショア・ファンド・シリーズー

WAバンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託

ブラジルレアルクラス　米ドルクラス　円クラス　豪ドルクラス

交付運用報告書

作成対象期間
第13期(2025年4月1日～2026年3月31日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、ウエスタン・アセット・オフショア・ファンド・シリーズ-WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第13期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、主としてバンクローンから成るポートフォリオを通じて、長期のトータル・リターンを受益者に提供することを追求することです。ポートフォリオは分散投資が図られ、全般的なポートフォリオ・リスクを管理しかつ制限することが企図されています。WA バンクローン・マスター・ファンド(マルチ・カレンシー型)(以下「マスター・ファンド」といいます。)は、ファンドと一致する投資目的を有しています。

ファンドは、そのすべてまたは実質的にすべての投資に利用可能な資産を⑴マスター・ファンドの受益証券および⑵各通貨クラスのために実施する特定の通貨の為替取引ポジションを組み合わせて投資します。

当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項
運用報告書(全体版)は代行協会員のウェブサイト(https://www.sc.mufg.jp/products/trust/index.html)の「外国投資信託運用報告書」にて電磁的方法により提供しております。

クラス	第13期末		第13期中	
	純資産総額	1口当たり純資産価格	騰落率	1口当たり分配金合計
ブラジルレアルクラス	305,468.87米ドル	1.09米ドル	20.13%	0.36米ドル
米ドルクラス	8,223,590.46米ドル	6.27米ドル	0.85%	0.36米ドル
円クラス	269,823,729円	4,318円	−3.31%	360円
豪ドルクラス	5,015,173.32豪ドル	5.08豪ドル	0.29%	0.36豪ドル

(注1)騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして算出しています。以下同じです。
(注2)1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

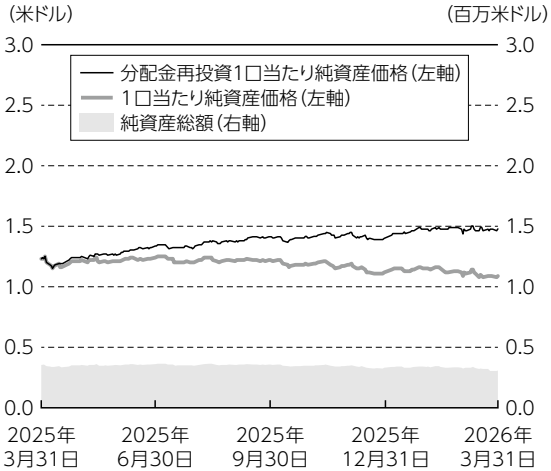
管理会社
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド

代行協会員
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

運用経過

■ 当期の純資産価格等の推移

ブラジルレアルクラス

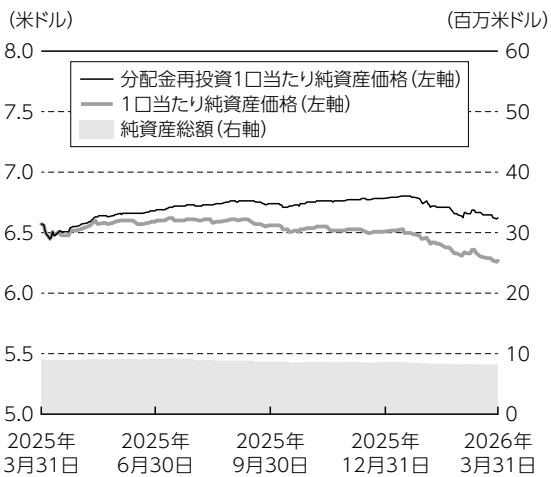


1口当たり純資産価格	
第12期末	1.23米ドル
第13期末 (1口当たり分配金額)	1.09米ドル (0.36米ドル)
騰落率	20.13%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因
当期のブラジルレアルクラスのパフォーマンス(騰落率)はプラス20.13%(分配金再投資ベース)となりました。期中ブラジルレアルは対米ドルで約9.7%上昇しました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

(注1)分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金をファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
(注2)分配金再投資1口当たり純資産価格は、第12期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。
(注3)ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注4)ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

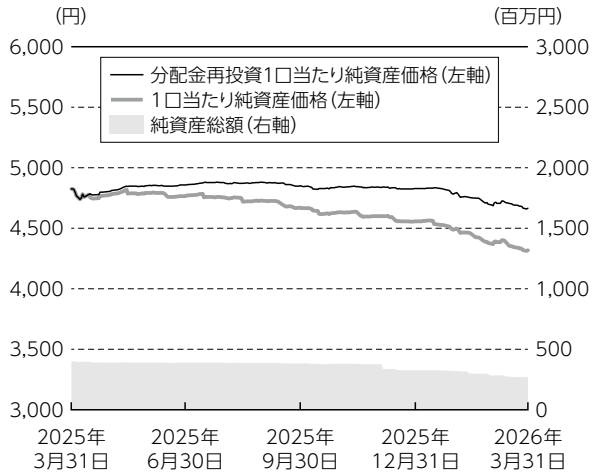
米ドルクラス



1口当たり純資産価格	
第12期末	6.57米ドル
第13期末 (1口当たり分配金額)	6.27米ドル (0.36米ドル)
騰落率	0.85%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因
当期の米ドルクラスのパフォーマンス(騰落率)はプラス0.85%(分配金再投資ベース)となりました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

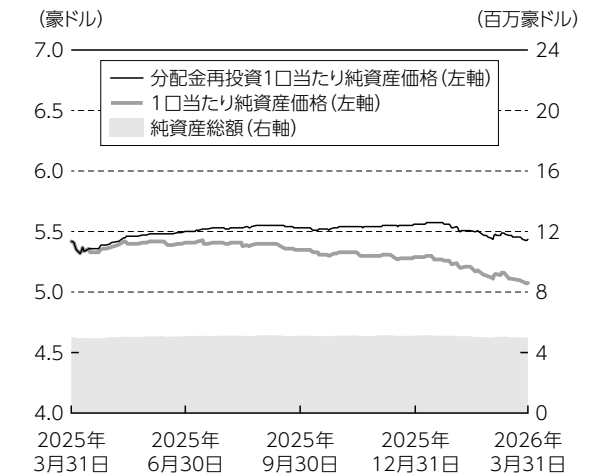
円クラス



1口当たり純資産価格	
第12期末	4,826円
第13期末 (1口当たり分配金額)	4,318円 (360円)
騰落率	−3.31%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因
当期の円クラスのパフォーマンス(騰落率)はマイナス3.31%(分配金再投資ベース)となりました。期中日本円は対米ドルで約6.0%下落しました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

豪ドルクラス



1口当たり純資産価格	
第12期末	5.42豪ドル
第13期末 (1口当たり分配金額)	5.08豪ドル (0.36豪ドル)
騰落率	0.29%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因
当期の豪ドルクラスのパフォーマンス(騰落率)はプラス0.29%(分配金再投資ベース)となりました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。なお、参考となる為替のリターンとして、期中豪ドルは対円で約16.9%上昇しました。

※為替レートについては、WM/ロイターロンドン午後4時のレートに基づき計算しています。

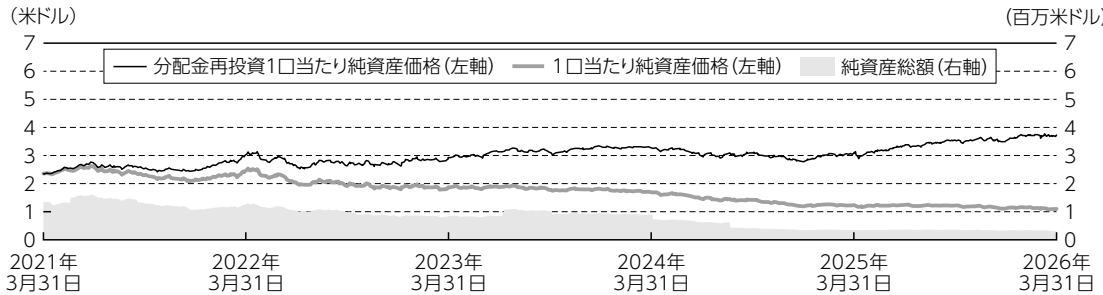
■ **費用の明細**

項目	項目の概要	
受託会社報酬	ファンドについて年間7,500米ドルの固定報酬	ファンドの受託業務の対価
管理事務代行会社報酬	ファンドについて年間10,000米ドル、および当初の3クラスを超えて追加されるクラスごとに、年間10,000米ドル	ファンドの管理事務代行業務の対価
販売会社報酬	ファンドの純資産価額の**年率0.80%**	受益証券の日本における販売および買戻しの取扱業務の対価
代行協会員報酬	ファンドの純資産価額の**年率0.05%**	目論見書、決算報告書等の販売会社への送付、受益証券1口当たり純資産価格の公表およびこれらに付随する業務の対価
その他の費用・手数料(当期)	**0.69%**	専門家報酬、保管報酬、その他

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用・手数料(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。なお、かかる比率の算出においては「その他の費用・手数料(当期)」の「その他」の中に受託会社報酬、管理事務代行会社報酬および代行協会員報酬の金額が含まれています。

■ 最近5年間の純資産価格等の推移

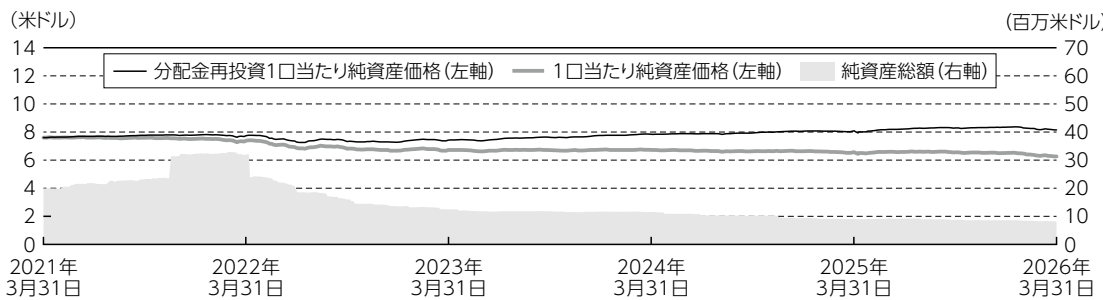
ブラジルレアルクラス



	第8期末(2021年3月31日)	第9期末(2022年3月31日)	第10期末(2023年3月31日)	第11期末(2024年3月31日)	第12期末(2025年3月31日)	第13期末(2026年3月31日)
1口当たり純資産価格(米ドル)	2.35	2.45	1.87	1.70	1.23	1.09
1口当たり分配金合計額(米ドル)	−	0.48	0.48	0.39	0.36	0.36
騰落率(%)	−	28.16	−3.00	12.59	−6.14	20.13
純資産総額(米ドル)	1,333,087.84	1,250,638.40	845,735.31	886,941.45	353,951.98	305,468.87

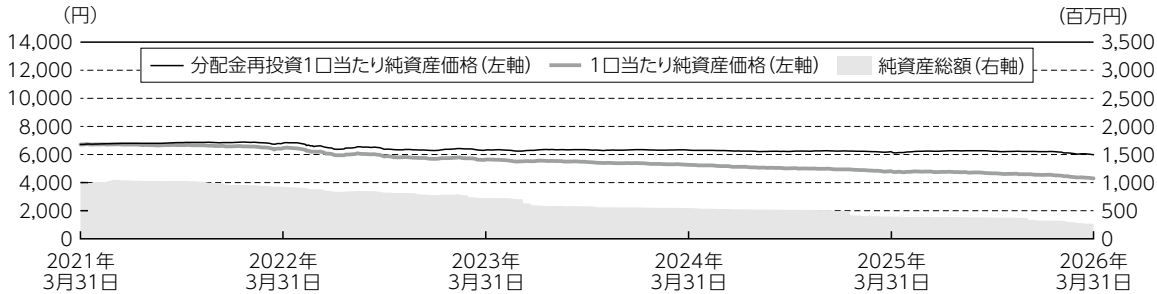
(注1)分配金再投資1口当たり純資産価格は、第8期末(2021年3月31日)の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。
(注2)ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドルクラス



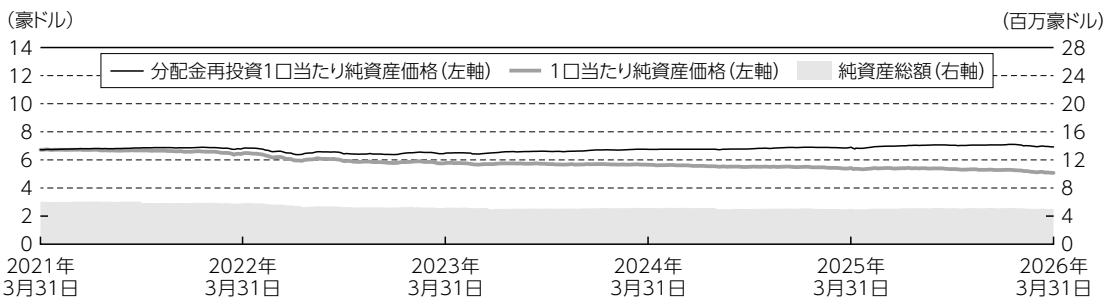
	第8期末(2021年3月31日)	第9期末(2022年3月31日)	第10期末(2023年3月31日)	第11期末(2024年3月31日)	第12期末(2025年3月31日)	第13期末(2026年3月31日)
1口当たり純資産価格(米ドル)	7.60	7.39	6.72	6.74	6.57	6.27
1口当たり分配金合計額(米ドル)	−	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
騰落率(%)	−	1.99	−4.20	5.82	2.90	0.85
純資産総額(米ドル)	19,900,756.16	32,058,059.42	12,508,790.09	11,564,384.40	9,097,135.95	8,223,590.46

円クラス



	第8期末 (2021年3月31日)	第9期末 (2022年3月31日)	第10期末 (2023年3月31日)	第11期末 (2024年3月31日)	第12期末 (2025年3月31日)	第13期末 (2026年3月31日)
1口当たり純資産価格(円)	6,720	6,464	5,648	5,281	4,826	4,318
1口当たり分配金合計額(円)	–	360	360	360	360	360
騰落率(%)	–	1.55	−7.17	−0.13	−1.84	−3.31
純資産総額(円)	1,025,607,811	919,670,896	730,313,528	548,537,056	400,747,334	269,823,729

豪ドルクラス



	第8期末 (2021年3月31日)	第9期末 (2022年3月31日)	第10期末 (2023年3月31日)	第11期末 (2024年3月31日)	第12期末 (2025年3月31日)	第13期末 (2026年3月31日)
1口当たり純資産価格(豪ドル)	6.72	6.47	5.78	5.66	5.42	5.08
1口当たり分配金合計額(豪ドル)	–	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
騰落率(%)	–	1.64	−5.14	4.29	2.20	0.29
純資産総額(豪ドル)	6,049,445.65	5,843,153.68	5,186,993.34	5,170,781.31	5,027,870.18	5,015,173.32

■ 投資環境について

当期においては、中東情勢を中心とした地政学リスクやマクロ経済要因、米国の関税政策を巡る不確実性、主要国の金融政策対応が複雑に絡み合い、市場のボラティリティを高める要因となり、金融市場に大きな影響を与えた1年となりました。

市場全体の動向として、上期においては米国の関税政策による米国・中国・欧州間の貿易摩擦や、中東情勢の緊張が高まり、一時的にリスクオフの動きが強まりました。しかし、関税措置の一部延期や停戦合意などを受けて、投資家心理は徐々に改善し、リスク資産は堅調に推移しました。S&P500指数は年央にかけて最高値を更新し、クレジット・スプレッドも縮小するなど、株式・クレジット市場は堅調に推移しました。下期においては米国政府機関閉鎖や経済指標の不透明感、地政学リスクの再燃、エネルギー価格の上昇などが重なり、再び市場の不安定さが増しました。当初、米国ではインフレ鈍化と利下げ継続を背景に株式・クレジット市場は堅調に推移したものの、2026年第1四半期にはAI主導の産業変革や中東・南米での地政学的緊張が高まり、市場ではリスク回避姿勢が強まり、米国債利回りは上昇し、クレジット・スプレッドも拡大しました。

米国では、米連邦準備制度理事会(FRB)がインフレ抑制と景気下支えのバランスを取りながら、段階的な利下げを進めました。2025年は合計で0.75%の利下げが実施され、年末時点で政策金利は3.50～3.75%となりました。インフレ率は年初から鈍化傾向を示しつつも、年後半にはエネルギー価格の上昇や地政学リスクの影響で再び上昇圧力が強まりました。雇用市場は一時的に堅調さを見せたものの、年末にかけては雇用の伸びが鈍化し、失業率も4.6%まで上昇しました。

米国債市場では、短期金利が低下し、長期金利が上昇するスティープ化が進みました。年後半にはベア・フラット化も見られ、金利の先行きに対する市場の不透明感が強まりました。FRBは金融政策の波及を円滑にするため、短期国債中心の米国債購入も再開しました。

欧州では、欧州中央銀行(ECB)が当期に2度の利下げを実施した後、政策金利を2.0%で据え置きました。ドイツを中心に財政出動や国債発行増が進み、欧州主要国の国債は、他の先進国をアンダーパフォームしました。年末にはフランスの格下げやインフレ率の上振れリスクが意識され、2026年の金利上昇観測が強まりました。

英国では、イングランド銀行が段階的な利下げを実施し、年末時点で政策金利は3.75%となりました。インフレ抑制への強い姿勢が維持され、バランスシート縮小ペースも調整されました。

総じて当期ではバンクローンを含むクレジット・スプレッド・セクターは国債のリターンを上回り、プラスのリターンとなりましたが、金融緩和期待を背景としたリスク資産上昇と地政学リスクやインフレ再加速懸念による調整が交錯する1年となりました。株式市場は高値圏を維持した一方で、債券市場では金融政策見通しの変化に伴う大きな金利変動が続き、年度終盤にはインフレと景気減速が同時に意識される難しい市場環境となりました。

今後も、政策当局の対応や地政学リスク、AIをはじめとする産業構造の変化が市場に与える影響を注視する必要があります。

■ ポートフォリオについて

<ファンド>

ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、主としてバンクローンに実質的な投資を行い、長期のトータル・リターンの獲得を目指した運用に努めてまいりました。当期の運用においては、期を通じて、マスター・ファンドの高位組入れを維持しました。

<マスター・ファンド>

当期のマスター・ファンドの債券・ローン部分の参考リターンはプラス2.57%(費用控除前)となり、1口当たり純資産価格は上昇となりました。S&P/LSTA パフォーミング・ローン・インデックスで計測される当期のバンクローン市場のリターンはプラス4.81%となりました。

当期においては、リスク資産全般の上昇とバンクローン市場の需給の好環境により、パフォーマンスは総じて上昇基調となり、マスター・ファンドの純資産価格も上昇しました。マスター・ファンドは、B格をアンダーウエイトし、投資適格級のBBB格とBB格への配分も高めに維持し、市場平均よりも高い格付けを維持しました。セクター別では、引き続き金融および資本財セクターをオーバーウエイトしました。景気循環の影響を特に受けやすいセクター(素材、景気循環消費財)についてはアンダーウエイトとし、加えてテクノロジーセクターもアンダーウエイトを継続しました。

■ 分配金について

当期(2025年4月1日～2026年3月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

ブラジルレアルクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 (対1口当たり純資産価格比率(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額(注2)
2025年4月15日	1.16	0.03 (2.52%)	−0.03
2025年5月15日	1.21	0.03 (2.42%)	0.08
2025年6月16日	1.22	0.03 (2.40%)	0.04
2025年7月15日	1.20	0.03 (2.44%)	0.01
2025年8月15日	1.22	0.03 (2.40%)	0.05
2025年9月16日	1.22	0.03 (2.40%)	0.03
2025年10月15日	1.16	0.03 (2.52%)	−0.03
2025年11月17日	1.18	0.03 (2.48%)	0.05
2025年12月15日	1.14	0.03 (2.56%)	−0.01
2026年1月15日	1.13	0.03 (2.59%)	0.02
2026年2月17日	1.12	0.03 (2.61%)	0.02
2026年3月16日	1.08	0.03 (2.70%)	−0.01

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、各クラスの収益率とは異なる点にご留意ください。
対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a／b
a=当該分配落日における1口当たり分配金額
b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額
以下同じです。
(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。
分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b−c
b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額
c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格
以下同じです。
(注3)2025年4月15日の直前の分配落日(2025年3月17日)における1口当たり純資産価格は、1.22米ドルでした。

米ドルクラス

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 （対1口当たり純資産価格比率）	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2025年4月15日	6.49	0.03 (0.46%)	0.00
2025年5月15日	6.57	0.03 (0.45%)	0.11
2025年6月16日	6.57	0.03 (0.45%)	0.03
2025年7月15日	6.60	0.03 (0.45%)	0.06
2025年8月15日	6.58	0.03 (0.45%)	0.01
2025年9月16日	6.58	0.03 (0.45%)	0.03
2025年10月15日	6.51	0.03 (0.46%)	−0.04
2025年11月17日	6.52	0.03 (0.46%)	0.04
2025年12月15日	6.51	0.03 (0.46%)	0.02
2026年1月15日	6.50	0.03 (0.46%)	0.02
2026年2月17日	6.38	0.03 (0.47%)	−0.09
2026年3月16日	6.31	0.03 (0.47%)	−0.04

（注）2025年4月15日の直前の分配落日（2025年3月17日）における1口当たり純資産価格は、6.52米ドルでした。

円クラス

（金額：円）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 （対1口当たり純資産価格比率）	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2025年4月15日	4,756	30 (0.63%)	−11
2025年5月15日	4,786	30 (0.62%)	60
2025年6月16日	4,759	30 (0.63%)	3
2025年7月15日	4,757	30 (0.63%)	28
2025年8月15日	4,719	30 (0.63%)	−8
2025年9月16日	4,694	30 (0.64%)	5
2025年10月15日	4,619	30 (0.65%)	−45
2025年11月17日	4,603	30 (0.65%)	14
2025年12月15日	4,564	30 (0.65%)	−9
2026年1月15日	4,534	30 (0.66%)	0
2026年2月17日	4,425	30 (0.67%)	−79
2026年3月16日	4,354	30 (0.68%)	−41

（注）2025年4月15日の直前の分配落日（2025年3月17日）における1口当たり純資産価格は、4,797円でした。

豪ドルクラス

（金額：豪ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 （対1口当たり純資産価格比率）	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2025年4月15日	5.33	0.03 (0.56%)	−0.02
2025年5月15日	5.40	0.03 (0.55%)	0.10
2025年6月16日	5.39	0.03 (0.55%)	0.02
2025年7月15日	5.40	0.03 (0.55%)	0.04
2025年8月15日	5.38	0.03 (0.55%)	0.01
2025年9月16日	5.37	0.03 (0.56%)	0.02
2025年10月15日	5.31	0.03 (0.56%)	−0.03
2025年11月17日	5.30	0.03 (0.56%)	0.02
2025年12月15日	5.28	0.03 (0.56%)	0.01
2026年1月15日	5.27	0.03 (0.57%)	0.02
2026年2月17日	5.17	0.03 (0.58%)	−0.07
2026年3月16日	5.11	0.03 (0.58%)	−0.03

（注）2025年4月15日の直前の分配落日（2025年3月17日）における1口当たり純資産価格は、5.38豪ドルでした。

今後の運用方針

<ファンド>

ファンドは今後も、主としてバンクローンから成るポートフォリオを通じて、長期のトータル・リターンを受益者に提供することを追求することを目的として運用を行います。

今後もファンドは運用方針に従い、マスター・ファンドへの投資を高位に保ちます。

<マスター・ファンド>

マスター・ファンドは、その投資方針に基づき、引き続き、主としてバンクローンに投資することで、長期のトータル・リターンの獲得を目指して運用を行います。

バンクローン市場は、1桁台後半の利回りでの収益率獲得の可能性があり、株式や他のボラティリティの高いオルタナティブ投資と比べて、引き続き魅力的な投資先となっています。市場の高いボラティリティとそれによる金利の上下変動などファンダメンタルな逆風にもかかわらず、8%近い利回りは引き続き需要を支えると考えます。現在のスプレッド水準はインプライド・デフォルト・リスクを上回るプレミアムを提供しており、今後もその水準が維持されると考えます。

ローン担保証券(CLO)およびミューチュアル・ファンドからのローン需要は非常に強く、バンクローン市場の需給環境を引き続き支えるため、ポジショニングに関しては、安定したキャリーが期待できるクレジットクオリティが高いBB格を継続保有します。また、金利の低下が金利負担の軽減に影響が大きいと思われることから、一部のシングルB格もトータルリターン獲得の可能性があると考え、継続保有します。

マスター・ファンドは、主にキャリーを重視しつつ、問題のある銘柄を避けて保有することで、アウトパフォームを目指します。また、消費者セクターのオーバーウエイトを維持する一方、資本財、通信など一部セクターに対しては引き続き慎重な見方を継続します。

お知らせ

投資運用会社であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社(以下「WAM日本」といいます。)は、フランクリン・テンプルトン・インク傘下の運用会社の日本法人であるフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(以下「FTJ」といいます。)と2026年10月1日付で合併しました。なお、本合併の存続会社はFTJです。本合併は、世界中に多様な運用会社を擁するフランクリン・テンプルトン・グループのグローバルで広範な取り組みの一環として実施されました。本合併の目的は、FTJおよびWAM日本の経営・管理基盤を統合することにより、顧客サービス水準の向上、営業体制の強化、管理・オペレーション面における効率性および安定性の向上を図り、両社それぞれの強みを活かした、より一体的なサービス提供体制を構築することです。なお、本合併によりファンドおよび現在運用中の運用戦略、運用チームの体制、ならびに運用哲学および運用プロセスに変更は生じません。

ファンドの概要

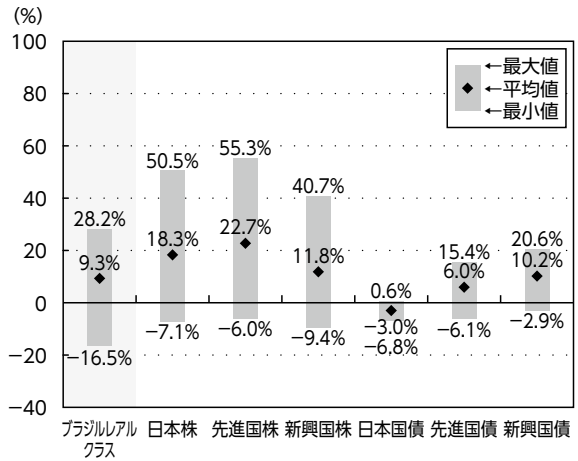
ファンド形態	ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託
信託期間	設立日(2013年2月8日)から150年目の14日前まで
運用方針	ファンドの投資目的は、主としてバンクローンから成るポートフォリオを通じて、長期のトータル・リターンを受益者に提供することを追求することです。ポートフォリオは分散投資が図られ、全般的なポートフォリオ・リスクを管理しかつ制限することが企図されています。WA バンクローン・マスター・ファンド(マルチ・カレンシー型)は、ファンドと一致する投資目的を有しています。
主要投資対象	通常の市況において、ファンドは、実質的にすべての資産をマスター・ファンドに投資します。ただし、クラス固有の為替取引のための証拠金、またはその他の目的のためにファンドが利用する資産はこの限りではありません。通常の市況において、マスター・ファンドは、自己の純資産の大部分をバンクローンに投資することを目指すものとします。バンクローンとは、消費者または事業体が銀行またはその他の営利的貸し手から提供を受ける信用供与をいいます。バンクローンには、ターム・ローンおよびリボルビング・ローン、固定金利または変動金利、ならびに優先ローンまたは劣後ローン等があります。マスター・ファンドによるバンクローンへの投資は、直接または間接的に行われます。マスター・ファンドは、バンクローンに関連する価値を有する他の証券または商品を購入または売却することにより、バンクローンに対するエクスポージャーを得ることもできます。
ファンドの運用方法	ファンドは、そのすべてまたは実質的にすべての投資に利用可能な資産を⑴マスター・ファンドの受益証券および⑵各通貨クラスのために実施する特定の通貨の為替取引ポジションを組み合わせて投資します。
投資制限	⑴ファンドまたはマスター・ファンドに関して空売りされる証券の時価総額は、いずれの時点においても、ファンドまたはマスター・ファンドの純資産価額をそれぞれ超えないものとします。 ⑵借入れは、その結果として、未払の借入総額がファンドまたはマスター・ファンド(該当する方)の純資産価額の10%を超えることになる場合に禁止されます。ただし、合併など臨時の緊急事態にある場合は、かかる10%の制限を一時的に超えることができます。 ⑶ファンドおよびマスター・ファンドは、その取得を行った結果として、ファンド、マスター・ファンドおよび管理会社により運用されるすべてのミューチュアル・ファンドが保有する株式の議決権総数が、1つの会社の株式の議決権の50%を上回る場合は、かかる会社の株式を取得しません。かかる制限は、その他の投資ファンドに対する投資(ファンドによるマスター・ファンドへの投資を含みます。)には適用されません。上記の比率は、購入の時点または現行の市場価格に基づいてのいずれかで算出できます。 ⑷ファンドおよびマスター・ファンドは、日本証券業協会の外国証券取引に関する規則(その後の改正または改訂を含みます。)により要求される価格の透明性を確保する適切な措置が講じられない限り、その純資産価額の15%を超えて、私募証券、非上場証券または不動産などの容易に実現できない非流動資産に投資しません。上記の比率は、購入の時点または現行の市場価格に基づいてのいずれかで算出できます。
分配方針	管理会社は、その単独の裁量により、分配金の支払を行うことができます。 ファンドが利用可能な現金を有する限りにおいて、毎月15日(または当該日がファンド営業日ではない場合は、翌ファンド営業日)である「分配日」において分配を行い、分配日の前日(当該日がファンド営業日ではない場合は、前ファンド営業日)である「基準日」において分配を宣言することが予定されています。

参考情報

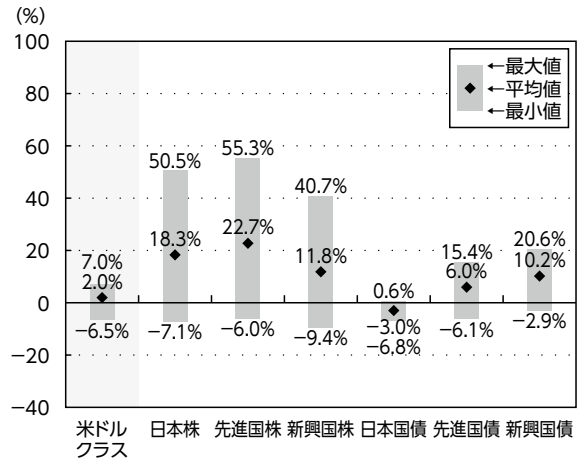
■ ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

2021年8月～2026年7月の5年間における年間騰落率（各月末時点）の平均と振れ幅を、ファンド（表示通貨ベース）と代表的な資産クラス（円ベース）との間で比較したものです。グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう作成したものです。

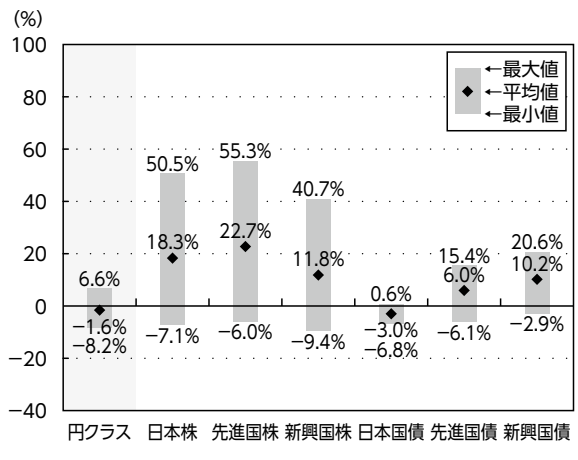
ブラジルレアルクラス



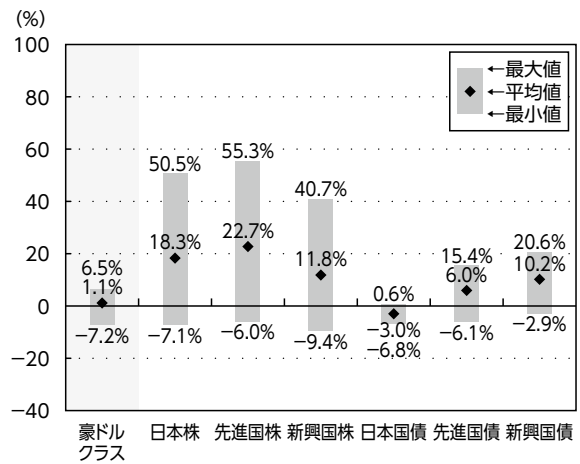
米ドルクラス



円クラス



豪ドルクラス



出所：Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所外国法共同事業が作成

※ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における分配金再投資1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。設定から1年未満の時点では算出されません。
※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。
※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、2021年8月～2026年7月の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
※ファンドの分配金再投資1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率は、各受益証券の表示通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数
日 本 株・・・TOPIX(配当込み)
先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)
新興国株・・・S&P新興国総合指数
日本国債・・・ブルームバーグE1年超日本国債指数
先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)
新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)
(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

ファンドのデータ

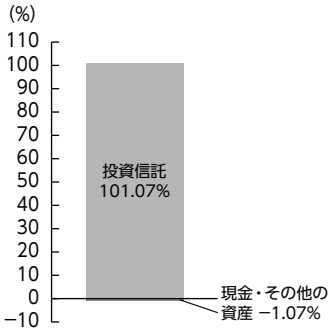
■ ファンドの組入資産の内容　（第13期末現在）

●組入上位資産（組入銘柄数：1銘柄）

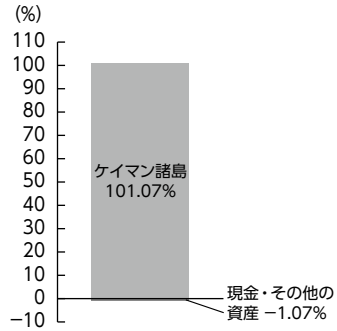
	銘柄名	組入比率（%）
1	WA バンクローン・マスター・ファンド（マルチ・カレンシー型）	101.07

（注）組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下、円グラフも同じです。

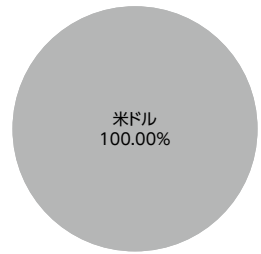
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



（注）組入比率は、運用報告書（全体版）に記載されている財務書類中の比率とは異なる場合があります。組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

■ 純資産等

クラス名	純資産総額	発行済口数	1口当たり純資産価格
ブラジルレアルクラス	305,468.87米ドル	280,712口	1.09米ドル
米ドルクラス	8,223,590.46米ドル	1,312,243口	6.27米ドル
円クラス	269,823,729円	62,485口	4,318円
豪ドルクラス	5,015,173.32豪ドル	987,933口	5.08豪ドル

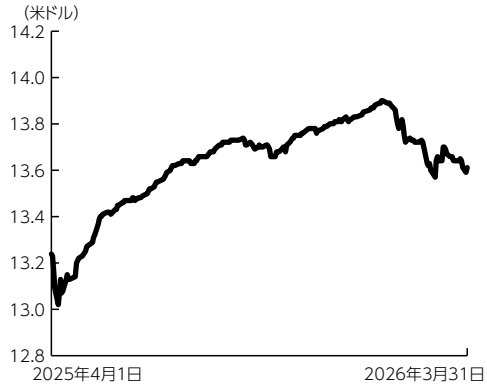
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
ブラジルレアルクラス	9,307口 (9,307口)	16,990口 (16,990口)	280,712口 (280,712口)
米ドルクラス	22,742口 (22,742口)	96,147口 (96,147口)	1,312,243口 (1,312,243口)
円クラス	738口 (738口)	21,293口 (21,293口)	62,485口 (62,485口)
豪ドルクラス	62,476口 (62,476口)	2,900口 (2,900口)	987,933口 (987,933口)

（注1）（　）は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。
（注2）上記の口数は、監査済の財務書類に基づく口数です。

■ マスター・ファンドの概要　（2025年4月1日～2026年3月31日）

WA バンクローン・マスター・ファンド（マルチ・カレンシー型）

●1口当たり純資産価格の推移



●保有上位10銘柄情報

（組入銘柄数：233銘柄）（デリバティブ取引を含みます。）

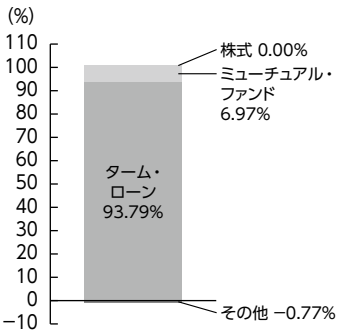
	上位保有10銘柄	組入比率（%）
1	BNY MELLON CASH RESERVE EOD FUND	6.97
2	INVESCO SENIOR LOAN ETF	2.03
3	SEDGWICK CMS INC	1.37
4	TENABLE INC	1.24
5	COTIVITI INC	1.21
6	VFH PARENT LLC	1.07
7	MINERALS TECHNOLOGIES INC	1.07
8	PRAIRIE ACQUIROR LP	1.07
9	HARBOR FREIGHT TOOLS	1.06
10	UNIVISION COMMUNICATIONS	1.05

●費用の明細

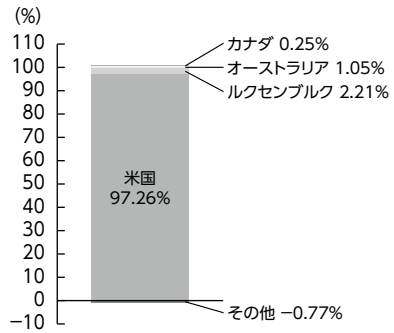
項目	項目の概要
管理会社報酬	管理会社としての業務につき、マスター・ファンドの純資産価額の**年率0.05%** 投資運用業務につき、マスター・ファンドの純資産価額の**年率0.65%**
受託会社報酬	マスター・ファンドの純資産価額の**年率0.01%** （ただし、最低報酬年間15,000米ドル）
管理事務代行会社報酬	マスター・ファンドの純資産価額の**年率0.02%**
米国保管報酬	マスター・ファンドの純資産価額の**年率0.005%**
その他の費用	**0.79%**

（注）各報酬については、マスター・ファンドの目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額をマスター・ファンドの期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

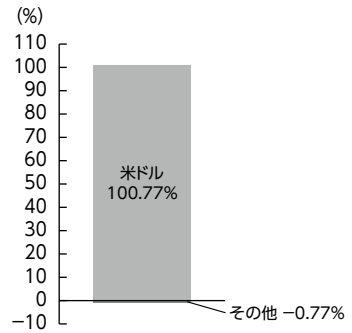
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)保有上位10銘柄情報ならびに資産別、国別および通貨別配分のデータは、2026年3月31日現在のものです。
(注2)保有上位10銘柄情報ならびに資産別、国別および通貨別配分のデータは、マスター・ファンドの純資産総額に対する当該資産の比率を示しています。